

公社等外郭団体の改革方針（案）

団体名	(社)千葉県私学教育振興会		所管所属名	総務部学事課	
事業内容	千葉県内の私学教育の振興のために、私立学校が施設整備等に要する資金を市場より安く借入れができるよう融資あっ旋、利子補給するほか、研修会、公開講座を行う。				
財務状況	年度(単位:千円)		H18	H19	H20
	貸借対照表	総資産	1,509,850	1,518,672	1,524,303
		負債	2,521	0	0
		資本	1,507,329	1,518,672	1,524,303
		累積損益	73,381	84,724	90,355
	損益計算書	総収入	94,966	90,646	83,142
		経常損益	9,145	11,343	5,631
		当期損益	9,145	11,343	5,631
		減価償却前当期損益	9,145	11,343	5,631
		借入金残高	0	0	0
	県財政支出	委託料	0	0	0
		補助金・負担金	4,580	3,963	2,265
		その他	0	0	0
県関与の必要性 団体の必要性	<p>(団体の必要性)</p> <p>学校の老朽化が進み、耐震改修工事や施設設備工事などの資金が必要になり、今後、融資あっ旋事業や利子補給事業の利用が増加し、当団体の必要性が高まってくるものと見込まれる。</p>				
	<p>(県関与(人的・財政的)の必要性)</p> <p>利息等の収入で会を運営しているが、全体の収入が減っており、県からの補助や資金の貸付けがなくなると事業の実施が難しくなる。そのため、県からの財政支援は必要である。</p>				
過去の見直し方針	分類	経営改善(統合を検討)			
	<ul style="list-style-type: none"> 国の公益法人制度改革を踏まえ、関係団体との統合の協議を進める。 融資あっ旋、利子補給事業については、種類や条件の見直しを行う。 助成事業や私学教育の振興に寄与する事業については、会員ニーズを踏まえ再構築を行う。 				

<p>現在までの取組状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体との統合について、「公益法人検討準備委員会」で検討中 融資あっ旋、利子補給事業の再開（平成 19 年度～） 新規事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> 学校法人会計基礎講座の開催（平成 19 年度～） 公開講座の開催（平成 19 年度～） 			
<p>役職員の状況</p>	<p>常勤役員 14 0名 21 0名</p> <p>うち県OB 14 0名 21 0名</p> <p>うち県派遣 14 0名 21 0名</p>	<p>常勤職員 14 0名 21 0名</p> <p>うち県OB 14 0名 21 0名</p> <p>うち県派遣 14 0名 21 0名</p>		
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体との統合や公益認定を得るため、新規事業や既存事業の見直し等を検討する必要がある。 融資あっ旋、利子補給制度の貸付条件等を充実させ、需要の拡大を図る必要がある。 私学教育の振興に寄与する事業や社会貢献性を高める事業について、さらなる見直し及び改革を進めていく必要がある。 			
<p>今後の改革方針（案）</p>	<p>分類</p>	<p>統合</p>	<p>（財）千葉県私立学校教職員退職金財団、（社）千葉県私学教育振興会、（財）千葉県私学会館の私学 3 団体を中心に、総合的に私学振興を支援していく団体、新しい公益法人制度に対応した団体のあり方について、「公益法人検討準備委員会」（事務局：千葉県私学団体連合会）において引き続き検討を行い、平成 25 年 11 月までに統合及び認定公益法人への移行を目指す。</p> <p>私学振興事業の安定運営のためには、引き続き事業を実施する必要があるため、既存事業の継承・拡充、そして新たな事業を含め、他団体との調整を十分に行った上で、一元的・体系的なサービスの提供を図っていく等、私立学校にとっての利便性を向上し、執行体制の簡素・効率化を推進していく。</p> <p>（財）千葉県私学会館</p> <p>私学教育の振興を図るため、千葉県私学会館の維持運営を行い、千葉県教育文化の高揚に資することを設立目的とする。</p> <p>（主な事業：会館の維持運営、私立学校教職員の研修等のための会議室貸出）</p>	